

社会資本総合整備計画(第1回変更) 事後評価書

我孫子市防災まちづくり整備促進

平成24年 3月(当初)

平成26年12月(第1回変更)

千葉県我孫子市

平成28年3月

社会資本総合整備計画（防災・安全）

平成28年3月7日

計画の名称	我孫子市防災まちづくり整備促進			
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）	交付対象	千葉県 我孫子市	
計画の目標				

防災行政無線や、防災備蓄倉庫、耐震性貯水槽、防災マップの配布、移動型無線、簡易防災井戸などの防災まちづくり整備を一体的におこなうことで、安心・安全な災害に強いまちづくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①防災行政無線子局のデジタル化率を現行の1.4%から100%に増加させる。
- ②防災行政無線子局数を現行の71局から79局に増加させる。
- ③簡易防災井戸数を現行の2校から8校に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
① 防災行政無線のデジタル化率	1% (1/71)	37% (26/71)	100% (79/79)							
② 防災行政無線子局数	71局	71局	79局							
③ 簡易防災井戸数	2校	4校	8校							
全体事業費	合計 (A+B+C)	388.3百万円	A	356.6百万円	B	0	C	31.7百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	8.2%

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	都市防災	一般	我孫子市	直接	我孫子市	地区公共施設等整備事業	防災行政無線(78局)、耐震性貯水槽(100㎡1基)、防災備蓄倉庫(約90㎡1基)	我孫子市						356.6	
合計												356.6			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-B-1															
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	都市防災	一般	我孫子市	直接	—	簡易防災井戸設置事業	簡易井戸 設置6校	我孫子市						5.0	
1-C-2	都市防災	一般	我孫子市	直接	—	移動型無線機整備事業	移動系無線機27台、MCA無線機16台	我孫子市						19.8	
1-C-3	都市防災	一般	我孫子市	直接	—	防災マップ印刷配布事業	防災マップ配布(65,000部)	我孫子市						2.0	
1-C-4	都市防災	一般	我孫子市	直接	—	洪水、浸水ハザードマップ印刷配布事業	洪水、浸水ハザードマップ印刷(65,000部)	我孫子市						4.9	
合計												31.7			

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C-1	市民の飲料水供給に加え、生活用水が確保されることとなり、これにより、市内くまなく給水拠点が整備されることから、都市防災機能の更なる強化と非常時における市民の安心・安全な生活の促進が図れる。														
1-C-2	災害時における市内の情報収集から広報へと繋がる体制がそれぞれ強化されることから、都市防災機能の更なる充実と緊急時における市民の生命の確保の促進が図れる。														
1-C-3	避難場所や無線子局、給水拠点、備蓄倉庫などの場所を記した防災マップを印刷し、市民全戸に配布して防災情報の周知徹底を図ることで、整備した都市防災機能の有効な利用促進が図れる。														
1-C-4	浸水想定区域図に洪水予報、避難場所など必要な事項を記載したハザードマップを印刷し、市民全戸に配布することで、整備した都市防災機能の有効な利用促進が図れる。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子局のデジタル化、移動系無線機の整備により、避難所等と双方向通信が可能となり、防災情報収集力が向上した。 ・防災行政無線の子局を8局新設したことで、難聴区域が減少し、避難情報等の伝達が強化された。 ・簡易防災井戸を小学校6校に整備したことで、避難所開設順位の第1位となる市内小学校の給水体制が完了した。避難所開設時には生活用水としての活用が可能となる。 				
II 定量的指標の達成状況	指標① 防災行政無線のデジタル化率	最終目標値	100% (79/79)	目標値と実績値に差が出た要因	目標値と同値
		最終実績値	100% (79/79)		
	指標② 防災行政無線子局数	最終目標値	79局	目標値と実績値に差が出た要因	目標値と同値
		最終実績値	79局		
	指標③ 簡易防災井戸数	最終目標値	8校	目標値と実績値に差が出た要因	目標値と同値
		最終実績値	8校		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年に「あびこ防災マップ」、平成27年に「洪水・内水（浸水）ハザードマップ」を自治会を通じて全戸配布したことで、住民の防災、避難に対する意識が向上した。 ・耐震性貯水槽を整備したことにより、約1万人の3日分となる100トンの飲料水を確保することが可能となった。 ・防災備蓄倉庫を整備したことにより、計画的な備蓄品の整備が可能となった。 				

3. 特記事項（今後の方針等）

・災害時に一斉・効果的に情報伝達できる防災行政無線の維持管理を強化し、いざという場合に備えるとともに、職員の無線機器操作講習の実施や操作資格者の育成など、運用体制の充実に努める。

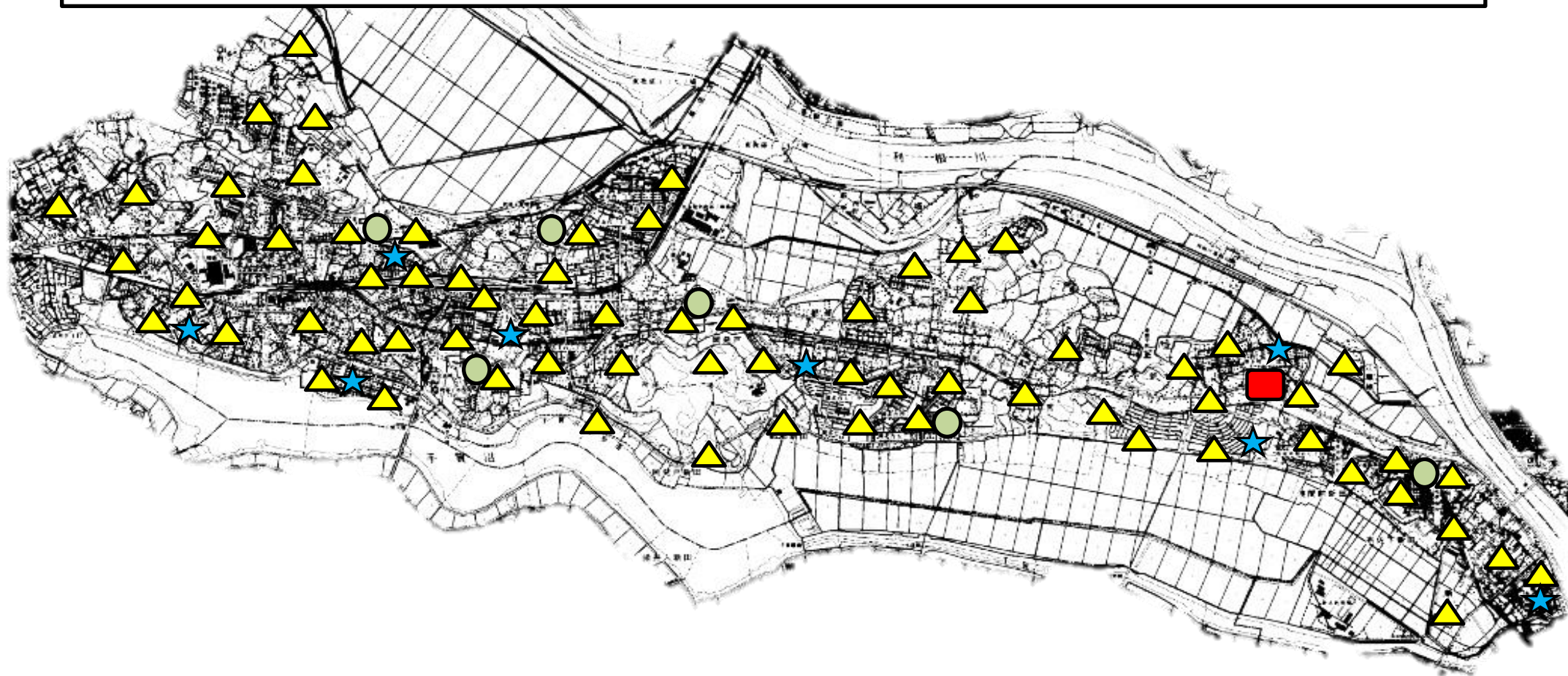
・備蓄倉庫の拠点機能の強化と全市的な配置バランスを考慮して、「基幹備蓄倉庫」を1箇所新設し、3箇所とする。2地区に1箇所の基幹備蓄倉庫が整備し、今後、整備していく学区（小中学校）備蓄倉庫とのネットワーク化を行い、計画的な備蓄品の整備をすすめる。

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	我孫子市防災まちづくり整備促進		交付対象	千葉県 我孫子市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)			

凡例

- 基幹事業「防災行政無線整備事業」デジタル化子局 : 70基 ▲
- 新規設置子局 : 8基 ★
- 「耐震性貯水槽整備事業(气象台記念公園)」防災備蓄倉庫設置事業(气象台記念公園) : ■ エリア
- 効果促進事業「簡易防災井戸設置事業」新規設置井戸 : 6校 ●



(参考図面) 市街地整備

計画の名称	我孫子市防災まちづくり整備促進		交付対象	千葉県 我孫子市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)			

